

豊中市主催 とよなか子どもクリエイティブ・ガーデン

今から100年あまりも以前に、環境と暮らしの利便性が調和した郊外住宅地として人気を博すとともに、当時から教育文化都市としての歩みを続けてきた豊中市。大きな時代の転換期を迎える現代の課題に向き合いながら、子どもたちの感性を育み、創造性の伸長を図る「とよなか子どもクリエイティブ・ガーデン」を昨年度に引き続いて開催します。

情報化や技術革新、グローバル化など社会構造の変化が急速に進み、将来の予測がますます難しくなっているといわれる状況^{※注1}のもと、豊かな創造性を育むことに見出される意義と効果等に注目した一連のワークショップや音楽企画を、新たな時代を生きる子どもたちのために催します。

幼児が音声の響きやリズムに気付くこと、生活の中で様々な色、形などに気付いたり感じたりすること、場面に応じた体の諸部位を十分に動かすことなどが、小学校以降の生活や学習の基盤につながるといった具体的な指摘^{※注2}なども参考にしながら、音楽やアートによる心はずむ活動を通じ、思考力・表現力・対話力などを培う成長の機会とするものです。

併せて、豊中市が文化芸術創造都市部門で平成27年度(2015年度)の文化庁長官表彰を受賞したことも鑑み、文化芸術ならではの創造性を存分に活かし、未来を担う子どもたちが、生き生きとクリエイティブなひとときを過ごせる時間と空間を創出します。

※注1 子どもたちの65%は将来、現在は存在しない職業に就くであろうこと、今後10年～20年程度で半数近い仕事が自動化される可能性が高いこと、2045年には人工知能が人類を超える「シンギュラリティ」に到達するであろうことなど、欧米の研究者らによる予測が、文部科学省における「教育課程企画特別部会 論点整理」の付記で参照されています。
 ※注2 前掲「論点整理」での、幼児期における、音韻の意識や視覚の認知、協調運動・巧緻性(こうせい)等を育むことの重要性に関する言及。

参加お申込みのご案内

お申込み・問合せ 豊中市 都市活力部 魅力創造課 TEL:06-6858-3201

○参加無料 ○市外からもお申込みいただけます。○事前申込が必要です。○各催事ごとに、下記の受付開始日時(☆)から、電話で受け付けます。
 ○小学生以下の子どものご来場には、保護者をご同伴ください。 ※先着順 ※大人だけのお申込みはご遠慮ください。



催事名	子どものための音の教育「音育(おといく)」 聴いて 描いて 遊ぶ 音の風景		参加型音楽会に演奏曲をリクエスト! 子ども クラシック・カフェ			最先端の学びをアートワークで体感 アートで楽しく育む知力			
催事番号	A-①	A-②	B-①	B-②	B-③	C-①	C-②	C-③	C-④
対象<定員> 子どもと保護者の 合計人数	就学前の子どもと 保護者<60人>※	小学生以上の子どもと 保護者<60人>	0歳～就学前の子どもと 保護者<120人> (B-①とB-②は同一内容)	小学生以上の 子どもと保護者 <200人>	小学生以上の 子どもと保護者 <200人>	就学前の 子どもと保護者 <30人>※	小学生の 子どもと保護者 <30人>	就学前の 子どもと保護者 <30人>※	小学生の 子どもと保護者 <30人>
開催日時	2017年10月29日(日)		2018年2月17日(土)			2018年3月24日(土)		2018年3月25日(日)	
	10:30-11:30	13:30-15:30	11:00-12:00	14:00-15:00	14:00-15:30	10:30-11:30	13:30-16:05	10:30-11:30	13:30-16:05
会場	大阪大会館					豊中市すこやかプラザ			
受付人数	申込1件につき、4人まで		・申込1件につき、5人まで ・リクエスト曲を1曲お聞かせください。			・申込1件につき、3人まで			
☆受付開始日時	2017年10月2日(月) 9:00		2018年1月9日(火) 9:00			2018年3月1日(木) 9:00			
持ち物	クレヨン/筆記具		叩いて音の鳴るもの (楽器でなくても可)			-			
服装	汚れてもよい動きやすい服装・靴		-			汚れてもよい動きやすい服装			

※ 就学前のお子さんと、保護者の皆様も一緒に活動にご参加ください。



子どものための音の教育【音育】 聴いて 描いて 遊ぶ 音の風景



待兼山の豊かな自然環境に抱(いだ)かれる大阪大会館

子どものための、身近な音から世界を再発見する「音の教育(音育)」プログラム。音を聴くことの面白さと驚きを身体全体で感じて豊かな感性を育みましょう。秋の待兼山で耳を澄ませて聴き取った「音の風景(サウンドスケープ)」をみんなで絵に描き表わし、この絵をもとにピアニストでもある小松正史さんが奏でる即興演奏を楽しみます。



待兼山
 「待ち兼ねる」という言葉の妙から、古(いにしえ)の多くの歌人に愛(め)でられた待兼山。平安時代後期の代表的歌人・源俊賴(みなもとのとより)も歌に連(のこ)しているほか、『新古今和歌集』にも登場します。(図版:『摂津名所図会(せつづめいしよえ)』(江戸時代:寛政年間)より「待兼山」)

とき 下表参照 ところ 大阪大会館(豊中市待兼山町1-13) **ファシリテーター/ピアノ演奏** 小松 正史(作曲家・ピアニスト・音育家・京都精華大学文学部 教授・博士(工学))
サポート・スタッフ NPO法人 ライフスキル研究所:小村 みち、中嶋 ちさ、井上 佐知子、新保 美恵子

催事番号	開催日	時間	対象<定員>	プログラム
A-①	2017年 10月29日(日)	10:30 11:30	就学前の 子どもと保護者 <60人>※	[オープニング] まわりの音に耳を傾ける準備 + 小松正史さんの音のコレクションから、 (「音消え」の体験) いろいろな音を聴いてみる [音育1] グループに分かれて散歩しながら 「楽しい/面白い音」を探す [音育2] 探してきた音をグループごとに絵に表現 (就学前児童は保護者と一緒に)
A-②		13:30 15:30	小学生以上の 子どもと保護者 <60人>	[クロージング] グループで描いたそれぞれの演奏の余韻のうちに、 絵を見ながら小松正史さんが + みんなで味わった音の風景を ピアノで即興演奏 振り返るととき

※ **就学前児童のご参加に際して** ・お子さんと一緒に、保護者の皆様も活動にご参加ください。
 ・開催時の状況に応じて、室内で窓外の待兼山の音を聴き取ったり、小松正史さんの即興演奏をピアノに代えて鍵盤ハーモニカで行うことがあります。



ーファシリテーターの小松正史さんにお聞きしましたー 日常に見つける未知の音の世界に漕ぎ出そう!

音の世界は人の声や音楽ばかりではありません。子どもの頃に、人工の音だけでなく、自然の音も含めた何気ない生活環境音に耳を傾け、音の世界を広く捉える感覚を養うことで、音をきっかけにした感性が広く奥深く形成されます。そのように、偏りのない多様性のある感性を形成することで、周囲の様々な感性情報を的確に受け止めることができ、①周辺の状況を鋭く正確に察知できる、②人とのコミュニケーションが円滑に的確に行える、といった好影響が及ぶと考えます。たった1回の音のワークショップだけで、子どもたちは目を輝かせ、何か表現してみたい衝動に駆られることを、多くの場面で見てきました。ただし、子どもたちが単独で楽しんでいるだけでは、広がりはありません。保護者も一緒になって音の世界を楽しみ、新しい不思議を発見するという「心の循環」があってこそ、成功するのです。豊中は私自身も大学院時代や音響心理学の講義も行ってたことで馴染み深い場所です。「子どもの創造性を育む」という素晴らしいテーマのプロジェクトが、これからも継続していくことを願っています。



小松正史
 1971年、京都府宮津市生まれ。京都市立芸術大学大学院(音楽研究科・作曲専攻)・大阪大学大学院(工学研究科・環境工学専攻)修了。音楽だけではなく「音」に注目し、それを教育・学問・デザインに活かす。学問の専門分野は、聴覚生態学と音響心理学。BGMや環境音楽を制作し、ピアノ演奏も行う。水や風を連想させる透明な音色と即興演奏が特徴。原風景を感じる普遍的な音楽との定評がある。河瀬直美監督の映画作品をはじめ、多数の映像作品への楽曲提供や音楽監督を行う。また、京都タワー・京都国際マンガミュージアム・京都丹後鉄道などの公共空間の音環境デザインを行う。聴覚や身体感覚を研ぎ澄ませる、独自の音育ワークショップも実践。

NPO法人 ライフスキル研究所
 (理事長:小村みち)
 平成14年(2002年)設立。アートを通して人々が「生きる技術(ライフスキル)」を高めるためのサポートをミッションとして、アートと心理を柱に幼児からシニアまで幅広い世代に対応した活動を展開。創作教室、親子で楽しめるアート活動、地域や福祉施設でのワークショップ、人材育成講座や教育関係者への研修、美術を楽しむ文化講座等を行っている。